

こんなことをします！（活動計画）

●お花見会&スポーツ大会

3月29日（土）に十日市場公園にてお花見会を行い、ボランティアと保護者の親睦を図ります。子ども達は春のミニ運動会をして過ごします。

●運営委員会

4月7日（月）に運営委員会を開きます。ひまわりの運営に欠かせないさまざまな業務の担当者が集まり、子ども支援計画をまとめます。また意見交換等を行い連帯感を深めます。

●ボランティア研修会

4月12日（土）、ボランティア及び保護者を対象としたボランティア研修会を行います。子どもたちの個性や特性を理解し、ボランティアスタッフの支援力の向上を図ります。

●鶏と亀のフェスティバル

4月16日（水）、ひまわり農園にて行います。

●ヨガ教室

4月21日（土）にひまわりの専門部会「鍼灸、アロマ、ヨガ部会」が主体となって、近くの施設で月に1度ヨガ教室を開きます。ボランティアや保護者、子どもたちが参加しています（部外者参加可能）。

●ふれあいレストラン

ひまわりでは月1回、フードバンクかながわの協力を得て「ひまわりふれあいレストラン」（1食150円）を開催しています。4月は26日（土）です。

ボランティアや保護者らで調理して、みんなでわいわいと会食する楽しいランチタイムとなっています。次回のメニューは「春のおにぎり」と副菜、デザートを予定しています。



ボランティアの先生を紹介します

VOL
29

金谷 先生

金谷先生は、0歳のお子さんを抱いてのママさんボランティアです。ボランティアの面接のときに赤ちゃんを抱いて面接を受ける金谷先生を前に「はたして赤ちゃんを抱えてのボランティアが可能なのか」と多少の疑問がありました。狭い室内で元気の良い子ども達の中での赤ちゃんは大丈夫なのか、との心配もありましたがいざ活動をしていただくと、その赤ちゃんの笑顔に子ども達もボランティアも癒されました。今では、赤ちゃん連れボランティアの金谷先生は子ども達に大人気です。不登校の子ども達への「赤ちゃんセラピー」を実践してくれる金谷先生は本校の貴重なボランティアの1人です。見守り、支援金担当

青葉区在住 地方公務員、特技はトロンボーン演奏

ひまわりの 各コースと 現況

- 通学制 開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分（ひまわり学園 9:00～12:10）
- 通信制 オンラインを通してゲームから学習支援までひまわり目線の支援を行います。支援時間と内容は、本人と相談の上で行います。
- 現況 生徒数：（約）60名 / ボランティア：（約）20名
時程：9時開門（学習）、12時10分昼食（食後レク）、12時55分（校長タイム）、
- 内容 1時20分（フィールドタイム）、2時半（帰りの会）（下校）

みどりの学校ひまわり / 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台80 問い合わせ先 090-9201-3992（渡辺）

ボランティアスクール
「横浜みどりの学校ひまわり」



ふれあい

学校だより 2025年4月号 No.70

こんな学校があってもいいかも
（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開校した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、14年前に開設されました。

オルタナティブスクール構想

校長 渡辺 正彦

不登校の子ども数が増加しております。2024年の調査では、小中学生で34万人以上の不登校の子どもがおり過去最多を記録しました。しかも前年に比べて15%もの増加です。小学校では約60人に1人、中学校ではなんと17人に1人が不登校になっております。

本校では14年前の設立時の目的に「公立学校で苦戦する子ども達を支援する」ことを一番にあげております。それは、私が公立小学校の校長をしている時に学校に馴染めずに苦戦をしている子ども達を目の当たりにしたからです。休み時間に校長室を開放したところ、休み時間に身の置き場のない子ども達が連日大挙して来室しました。来室した子ども達は、苦戦をしながらも頑張って登校していたのです。子ども達は校長室の手作りのゲーム機に夢中になり、校長に話しかけてはくるが、子ども同士の会話は皆無でした。友達とのコミュニケーションが苦手な理由は、「自分の気持ちや感情を伝えるのが苦手」「相手の抽象的な表現が理解できない」「こだわりがあり、相手と話を合わせる事が困難」などの他にも「孤立願望」や「マイルールへの固執」など様々な要因があります。実は、このような子ども達は、不登校の予備軍になる可能性もあるのです。一方でそのような個性の子ども達は、類い稀な素晴らしい側面も合わせ持っております。

開校以来本校ではそのような子ども達の長所に焦点をあてた子ども支援をしてきました。現行の本校の支援に合致する子どもが大半を占める中で、学校教育の長所を取り入れた新たな教育支援の場の提供も模索することにしました。「オルタナティブスクール構想」です。「オルタナティブスクール」とは、今までの学校教育とは異なる理念や手法による教育支援であり、本校は、現在の「横浜みどりの学校ひまわり」を併存させながらも不登校児童・生徒に対してオルタナティブの視点から新たな教育支援を行いたいと考えております。

現在は、構想段階ではありますが実現に向けて努力をしていきたいと思っております。

資金面、施設面、人材面のどれも厳しい環境にありますが、不登校生激増の前に手綱を緩める訳にはいきません。地域の皆様、関係者の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。本校の「オルタナティブスクール構想」に関心のあります方のご協力を心よりお待ちしております。

こんなことしました! (活動報告)

ひまわり卒業式

本年度も「ひまわり小さな卒業式」が3月22日(土)挙行されました。

今年は、小中合わせて13名の卒業生です。当日は、区内小学校の校長先生の他に地域自治会の皆様方達が卒業生の門出を祝して下さいました。

バイオリンの生演奏の中で、本校独自の対面式の卒業式は出席者の心に響く式になりました。保護者への卒業証書授与も話題になりました。



バイオリン
生演奏



卒業証書授与



保護者への卒業証書授与

子どもたちから
卒業生へ



学校で悩んでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、学習に集中できないなどの子どもたちを積極的に支援します。

支援者は現役教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。体験期間の2週間は無料です。

お問い合わせは TEL 090-9201-3992 渡辺まで



本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした青葉区社会福祉協議会の「あおばふれあい助成金」の配分を受けて活動しています。

社会科見学



3月24日(月)に恒例の社会科見学が実施されました。今年の見学場所は、国会と科学技術館でした。20名の参加者達は、国会の会議場に興味深々、科学技術館では「体験コーナー」に子ども達が集中するほどの人気でした。

鶏小屋アート



3月14日(金)鶏と亀を小屋から出して自由に過ごさせる「鶏フェスティバル」と鶏小屋にペンキ塗りをする「鶏小屋アート」を行いました。

鶏や亀は自由に歩き回り、だっこされてました。子ども達は服の汚れも気にせず楽しんでいました。

ボランティア研修会

3月15日(土)にボランティア研修会を行いました。今回は「不安障がいやかんしゃく」について研修をしました。引き続き月1回ボランティア研修会を行う予定です。



校長講演会

3月13日(木)に東京・大手町の出光興産本社で社員向けに「発達障がいとインクルージョン」をテーマに行いました。

ひまわりでは ボランティアを募集しています

活動日 月・水・金・土曜日 午前10時～午後2時30分
(週1回、午前・午後だけでも可能)

活動内容 ●子どもの見守り ●学習指導 ●支援金事務
●農業体験 ●にわたりの世話
●保護者や子どものカウンセリング など

お問い合わせ先 TEL 090-9201-3992 渡辺

HPからも
問い合わせ可

